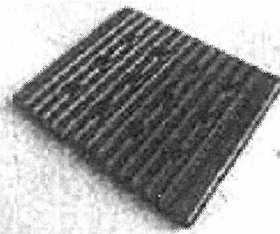


# 温室、手軽に温度調節

## ヤノ技研がカプセル 燃料費25%減

【神戸】ヤノ技研(兵庫県宝塚市、矢野直達社長、0797・84・2559)は、野菜や果物用温室の温度調節向けに無機系の潜熱蓄熱材(PCM)を開発した。価格は一枚約1000円、価格は一枚約1000円。0円で農協や農業資材商社向けに販売し、初年度は2400件、2015年度は2400件の受注を目標とする。

カプセルは、縦281mm×横315mm×厚3mmで、PCMが1.3



層入っている。PCMは塩化カルシウムなどを主成分とした化合物で水に比べ、約5倍の熱量が蓄えられる。ある温度より気温が高くなれば熱を吸収し、下がれば熱を放出する仕組みで、育てる野菜や果物に応じ、PCMの素材や配合を変えることで自由に温度が設定できるのが特徴。330平方センチあたり400枚のカプセルを温室の側壁内側に貼るだけで、温室内の気温の上昇と低下を抑え、重油などの暖房費が節約できる。

12年1月から4カ月間、大分県の補助を受け、北野雅治九州大学農学部教授らが大分県梓葉

市のみかんの温室での実験ではA重油で約25%削減。12年3月から1カ月間、兵庫県加西市のトマトの温室での兵庫県立農林水産技術総合センターの実験では約26%の灯油が削減できたことから販売を決めた。